【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第４項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年５月28日
【四半期会計期間】	第18期第３四半期（自 平成23年７月１日 至 平成23年９月30日）
【会社名】	株式会社フィスコ
【英訳名】	FISCO Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　狩野 仁志
【本店の所在の場所】	大阪府岸和田市荒木町二丁目18番15号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都港区南青山五丁目4番30号
【電話番号】	03（5774）2440
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 松崎 祐之
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目８番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年11月14日に提出した第18期第３四半期（自　平成23年７月１日　至　平成23年９月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報
第３ 設備の状況
(2) 設備の新設、除却等の計画
①重要な設備の新設等
第４ 提出会社の状況
１ 株式等の状況
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移

3【訂正箇所】

訂正箇所は＿＿＿線で示しております。

第一部【企業情報】
第３【設備の状況】
(2) 設備の新設、除却等の計画
①重要な設備の新設等
（訂正前）

該当事項はありません。

（訂正後）

前連結会計年度において見直中であった重要な設備の新設のうち、コンテンツのデータベース改良等のシステムに係るソフトウェア及びハードウエアの投資（126,000千円）に関して、当第３四半期連結会計期間において、技術革新の進化やハードウェアの向上など変動要因があることに加え、金融マーケット市場の急激な悪化に鑑み、計画を中止することを決定いたしました。

第４【提出会社の状況】

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

（訂正前）

年月日	発行済株式総数増減数（株）	発行済株式総数残高（株）	資本金増減額（千円）	資本金残高（千円）	資本準備金増減額（千円）	資本準備金残高（千円）
平成23年７月１日～平成23年９月30日	－	73,394	－	1,195,529	－	－

（記載なし）

（訂正後）

年月日	発行済株式総数増減数（株）	発行済株式総数残高（株）	資本金増減額（千円）	資本金残高（千円）	資本準備金増減額（千円）	資本準備金残高（千円）
平成23年７月１日～平成23年９月30日	－	73,394	－	1,195,529	－	－

（注）平成22年２月22日開催の当社取締役会において決議された第三者割当増資40,000株による手取金879,800,000円につきまして、借入金返済に100百万円、コンテンツのデータベースの改良や配信作業の効率化を高めるためのシステム開発投資に300百万円、中国・アセアンのコンテンツを拡充するための現地法人の設立運営に400百万円及びコンテンツ拡充のためのニューヨーク駐在員事務所の拡張に79百万円を充当予定でありましたが、実際には、借入金返済に91百万円、コンテンツのデータベースの改良や配信作業の効率化を高めるためのシステム開発投資に28百万円及び中国・アセアンのコンテンツを拡充するための現地法人の設立運営に25百万香港ドル(約320百万円）を充当し、コンテンツ拡充のためのニューヨーク駐在員事務所の拡張につきましては、株式市場の低迷に鑑み、事務所の拡張を一時中断しております。また、残額につきましては、当社連結子会社である株式会社フィスコ・キャピタルへの貸付金(総額564百万円)の一部に充当いたしました。なお、株式会社フィスコ・キャピタルへの貸付金は、イー・旅ネット・ドット・コム株式会社の買収資金（362百万円）及びその後の同社への増資資金（202百万円）の一部に充当しております。その結果、第三者割当増資による手取金の残額はございません。